

家族エクササイズ

シリーズ・家族

ヨセフ物語（創世記37～50章）

- 家族をめぐる最も壮大にして美しいドラマ
- 父に愛され、兄たちに憎まれたヨセフ（37章）
 - ヨセフは年寄り子であったので、父の寵愛を一身に受けていた
 - 他の10人の兄弟は当然ヨセフを憎んだ
 - ヨセフは、兄や両親が自分にひれ伏す夢を見た、と兄たちに話した
- エジプトに売られたヨセフ
 - 一時は殺されそうになったが、助かった

ヨセフ物語

- エジプトで王に次ぐ位に就いたヨセフ
 - エジプトの侍従長の家を買われたヨセフだったが、その才覚で出世した
 - 主人の妻に誘惑されたが、断ったために濡れ衣を着せられ投獄された。
 - 王ファラオの夢を見事に解き明かしたことから一気にエジプト第二位の地位に就いた

ヨセフ物語

- ヨセフと兄たちの再会
 - 飢饉を逃れるため、ヨセフの10人の兄たちがエジプトに穀物を買いにきた
 - ヨセフは一目で兄たちだと気付いたが素知らぬ振りをしていた(兄たちにはヨセフが分からなかった)
 - ヨセフは兄たちをスパイと決めつけ、弟を連れてこい、と命じた
 - それを聞いた兄たちは、自分たちがヨセフに行ったことを深く反省した

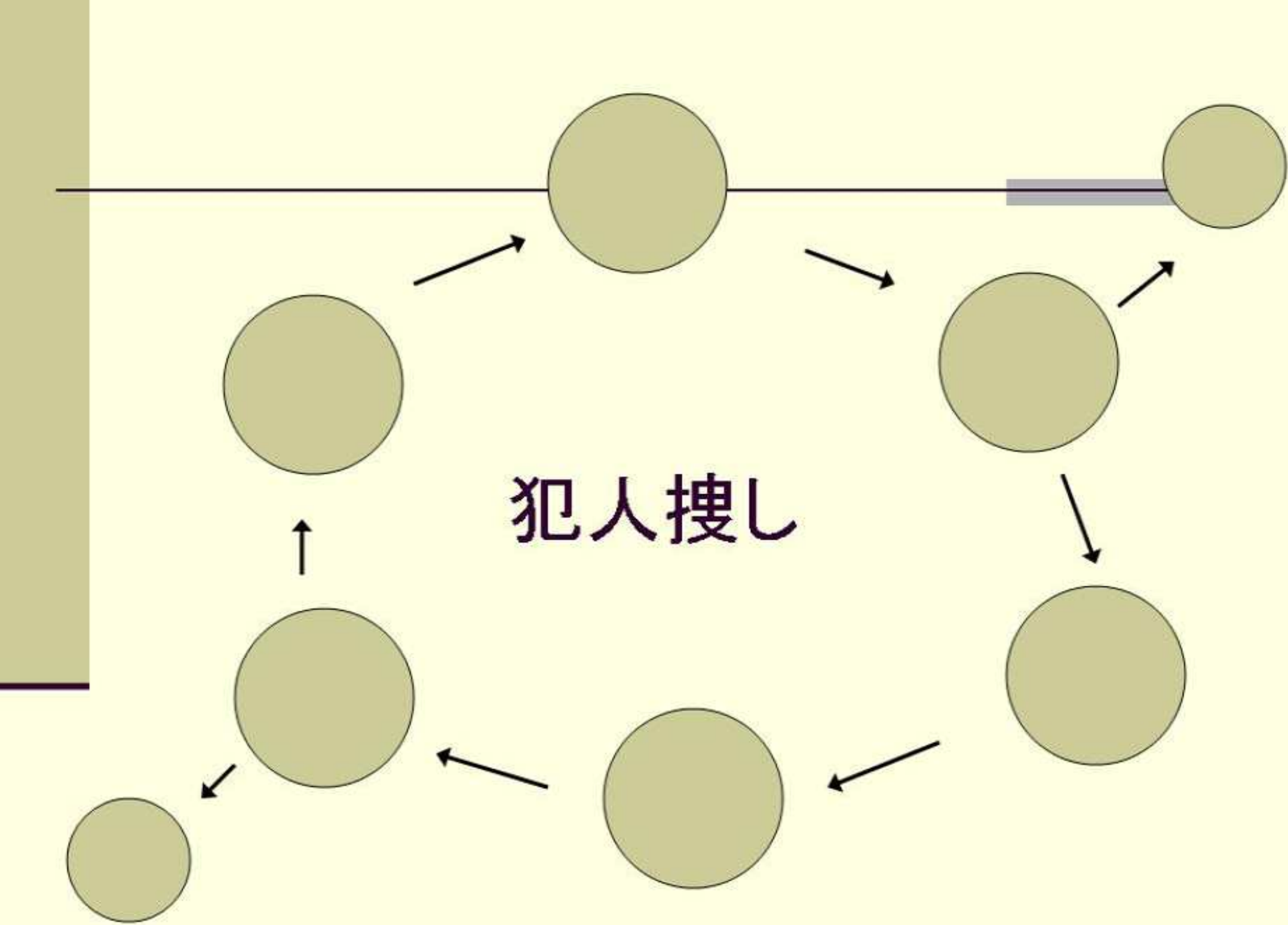
ヨセフ物語

■ ハッピーエンド

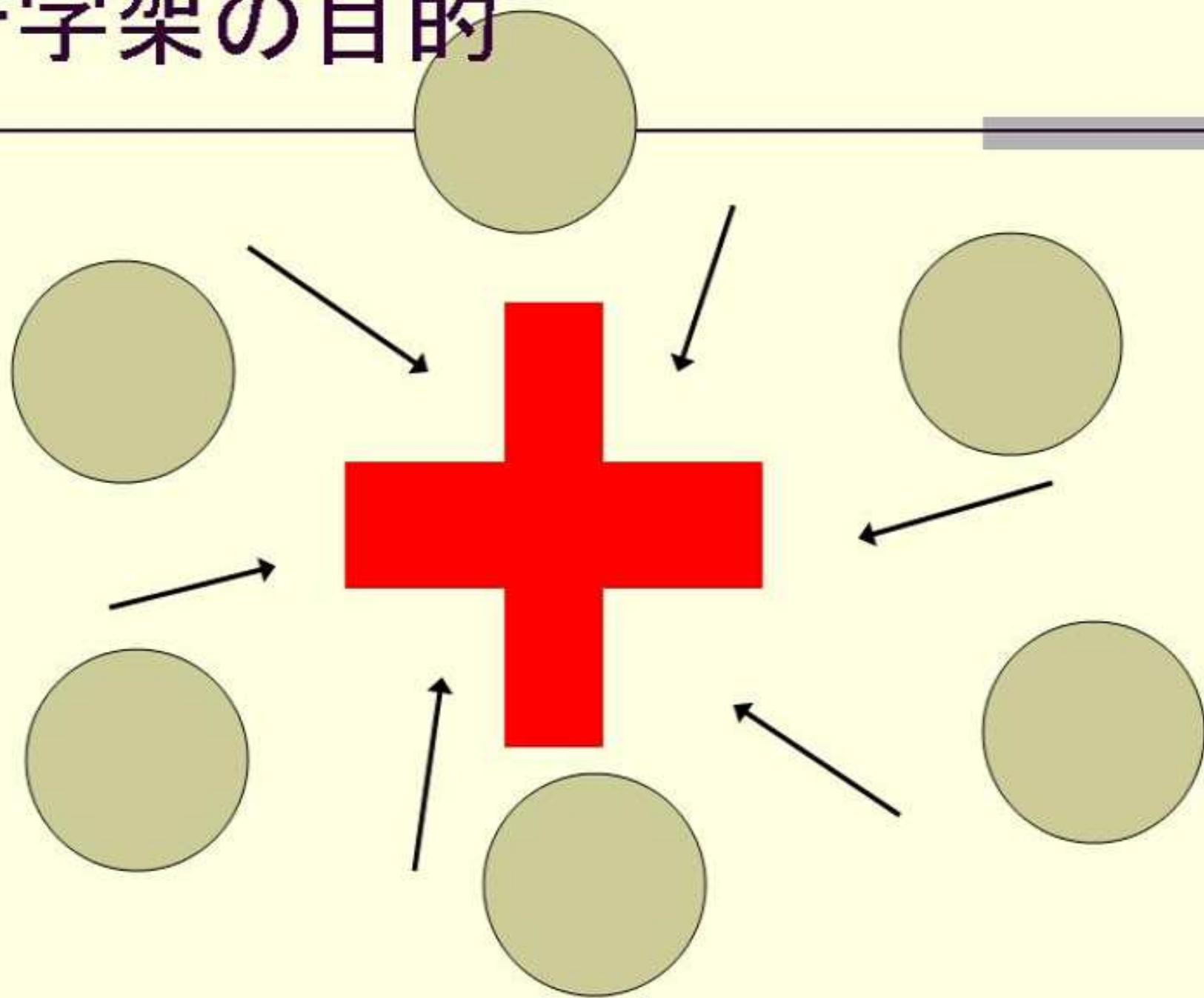
- 兄たちは末の弟を連れて再びエジプトに行かせて欲しいと頼んだが、父は許可しなかった
- 飢饉が悪化し、エジプトにいかざるをえなくなった
- ベニヤミンに会えて喜んだヨセフであったが、兄たちの本心を見極めるため、罠を仕掛けた
- 兄たちの変わり様にヨセフは平静を装うことができなくなり、身分を明かし、涙の再会となった
- ヤコブ一家はヨセフを頼ってエジプトに移住した

犯人捜し

- ヨセフ物語の犯人は誰？
 - 犯人にも背景がある
- 誰かを犯人にすることでバランスを保つ
 - 家族の誰か？自分自身？
- 犯人を捜すと犯人になる
 - 「あなたがたは、自分の裁く裁きで裁かれ、自分の量る秤で量り与えられる。」〈マタイ7:2〉
- すべての人間は犯人である



十字架の目的



「谷上 彼らをお救い下さい、自分が何をしているのか知らないのです。」

和解の務め

「神は、キリストを通してわたしたちを御自分と和解させ、また、**和解のために奉仕する任務**をわたしたちにお授けになりました。」 <Ⅱコリ 5:18>

- 最も大切な和解は完了している
- 和解ほど難しいことはない
 - ヨセフの手続き

「わたしをここへ売ったことを悔やんだり、責め合ったりする必要はありません。命を救うために、神がわたしをあなたたちより先にお遣わしになったのです。」 <創世記45:5>

- 刑事ではなく調停員に

家族エクササイズ

- 神は心を育てるために家族を創造された
- 和解の練習場としての家族
 - 距離が近いほど衝突も起こる(あらしの宝庫)
 - 和解の宝庫でもある
- 「悩みも恵み」(聖フランシス)
 - 非難・批判は破壊し、受容・赦しは建て上げる